

世界史 授業 No.12 テーマQ.&A.プリント

1. 今日のテーマ・クエスチョン

ヘレニズム哲学の特色と時代背景とは？

2. テーマ・アンサーのキーワードをピックアップ

※教科書該当ページ（P. 27）の中から見つけよう！

ヘレニズム時代にはいとギリシア文化は（ 1 ）にも波及し、各地域の文化と融合して独自のヘレニズム文化がうまれた。この時代には、（ 2 ）の枠にとらわれない世界市民主義（コスモポリタニズム）の考え方がうまれ、哲学では（ 3 ）の心のやすらぎが重んじられた。精神的な快楽を求める（ 4 ）派や、禁欲を徳とする（ 5 ）派がその代表である。

また、自然科学はエジプトのアレクサンドリアを中心にめざましい発達をとげ、平面幾何学を集大成したエウクレイデス、数学・物理学の諸原理を発見したアルキメデスらが活躍した。

ギリシア美術の様式は、インドでは仏教と結びついてガンダーラ美術をうみ、遠く中国や日本にまで影響をあたえた。

<記入欄>

1 () 2 () 3 ()
4 () 5 ()

3. 今日のテーマ・アンサー（テーマ・クエスチョンの答）確認

※今日のノートに取った内容や2.でピックアップしたキーワードを参考にしよう。

T. Q. 「ヘレニズム哲学の特色と時代背景とは？」

T. A.

ヘレニズム哲学は宇宙観と幸福論を大切にした。[①]派と[②]派に分かれ、前者は心の平静（アパテイア）を真の幸福とし、それに至る手段として[③]主義を、後者は心の平穩（アタラクシア）のために精神的[④]主義を主張した。また、[①]派はローマでも流行した。背景には、[⑤]の崩壊とアレクサンドロス帝国の成立による世界市民主義と個人主義への傾きがあった。

<記入欄>

① [] ② [] ③ []
④ [] ⑤ []

[] 年 [] H No. [] 氏名 []